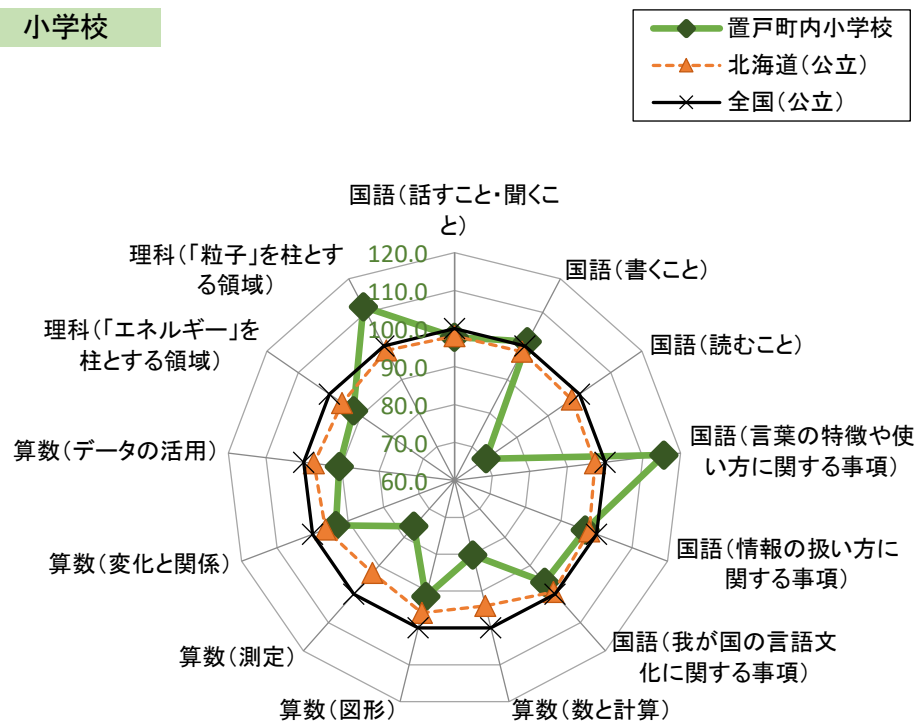


○ 教科に関する調査の状況

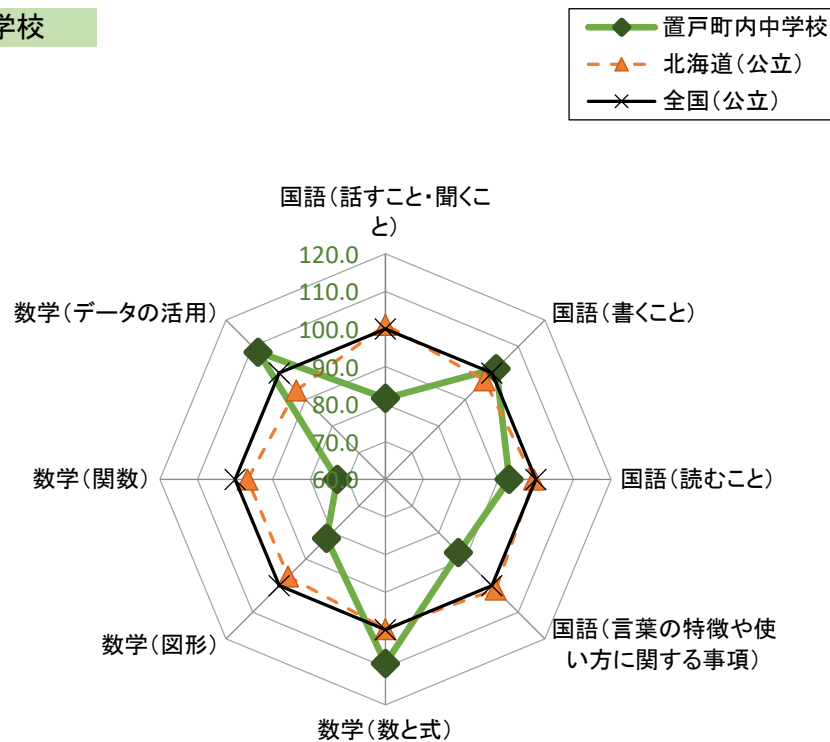
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

小学校



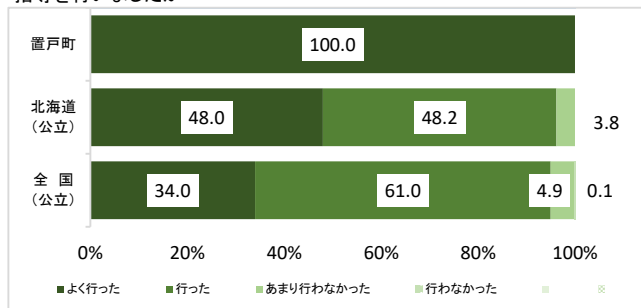
中学校



○ 質問調査の状況

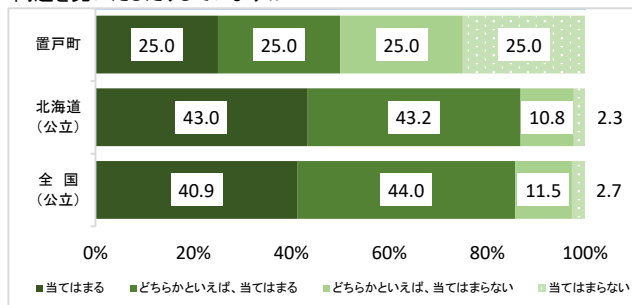
小学校 ＜学校質問＞

理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか



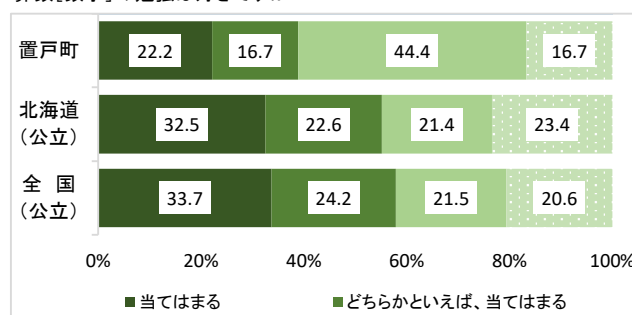
小学校 ＜児童質問＞

自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか



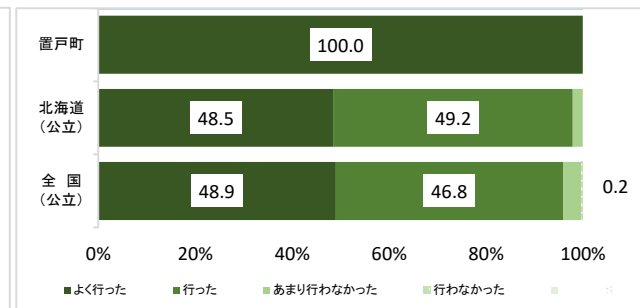
小学校 ＜児童生徒質問＞

算数[数学]の勉強は好きですか



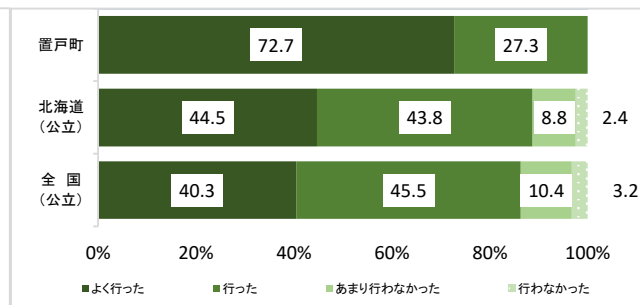
中学校 ＜学校質問＞

理科の授業において、生徒が観察や実験をする授業を行いましたか

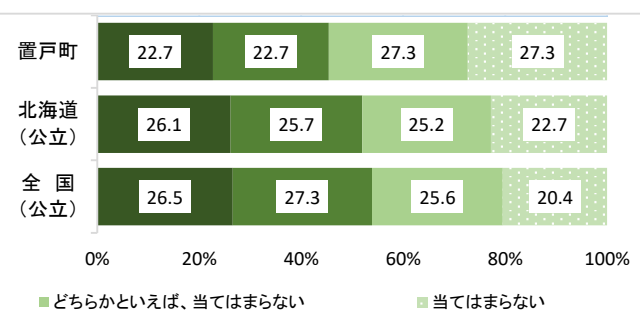


中学校 ＜生徒質問＞

理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか



中学校



○ 調査結果の分析

- ・ 小学校の理科の授業において、自然の事物・事象から問題を見いだすことができる指導を行ったことにより、自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしたと回答した児童の割合及び理科の平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- ・ 中学校において、観察や実験をする授業をより多く行ったことにより、生徒の理科への興味関心の醸成や理解が深まるとともに、生徒質問調査において、理科の授業では、観察や実験をよく行ったと回答した生徒の割合が全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。

- ・ 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数[数学]の授業の内容はよく分かったと回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・ 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ・ ICT端末を効果的に活用した児童生徒の個別最適な学びや協働的な学びの促進
- ・ 将来に向けて持続可能な組織の体制整備を図りながら、小中一貫教育の推進に向け、きめ細かな教育環境を確立する